

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

消化器内視鏡治療医コース 募集要項

1) 応募資格	令和3年4月時点で、以下のすべての要件を満たしている方 ① 日本内科学会認定内科医であること。 ② 臨床研修修了後3年以上の消化器内科領域の臨床経験を有すること。
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	東京都立多摩総合医療センター 消化器内科
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	令和2年11月2日(月)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11) の申込先に郵送すること。 ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 推薦状2通 ⑤ これまでの業績 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承ください。
10) 申込期限	令和2年10月5日(月)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	並木 伸 (東京都立多摩総合医療センター 消化器内科部長) (電話)042-323-5111(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

消化器内視鏡治療医コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立 多摩総合医療センター	
連携して研修する病院・ 施設(予定)	東京都立墨東病院、国立がん研究センター東病院、公立昭和病院	
研修時に必要と する知識・技量 (応募資格)	令和3年4月時点で、以下のすべての要件を満たしている方 ① 日本内科学会認定内科医であること(取得見込も可)。 ② 臨床研修修了後、3年以上の消化器内科領域の臨床経験を有すること。	
コース 責任 者	氏名(所属)	並木 伸 (東京都立多摩総合医療センター 消化器内科部長)
	資格名	日本内科学会認定医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・暫定指導医
	専門分野	消化器内視鏡診断および治療
臨床指導体制	当院は消化管内視鏡治療において多摩地区有数の件数を経験している。 2019年は上部消化管癌ESD130件、下部消化管癌ESD80件の実績をあげており増加傾向にある。 日本消化器内視鏡学会指導医1名、内視鏡学会専門医11名、うち内視鏡治療を専門に従事している医師を3名有し指導体制が充実している。各自に研究テーマを設定し、学会発表、論文作成も積極的に行うよう指導する。	
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	当院の早期胃癌に対するESD適応外病変の長期予後および転移リスク因子の検討(後方視的観察研究) 大腸ESDでのけん引法の有用性の検討 早期胃癌発見を目的とした新規バイオマーカーに関する探索的研究 急性膵炎の前向き多施設観察研究「SANADA」study 重症急性膵炎に対する局所疎動注療法についての後向き多施設観察研究 上部消化管出血に関する臨床情報を用いた前向き観察研究 Excision repair cross-complementing gene-1は膵癌における予後因子ならびに化学療法の効果予測因子になりうるか(後方視的観察研究)、 膵癌新規診断マーカーの評価研究 膵癌の術前及び術後予後予測因子の臨床応用に向けた前向き臨床試験 肝門部悪性胆道閉塞に対する術前ドレナージにおけるinside stentの有用性の検討
	今後行う 研究と 研究体制	当院での表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する内視鏡切除の治療成績 当院での大腸内視鏡治療における抗血栓療法患者と後出血の後方視的検討 当院における大腸锯齿状病変の臨床的特徴についての検討 原発性肝癌に関連する疾患、治療データベース構築のための多施設レジストリ研究
研修項目	術前精査内視鏡検査(上・下部消化管)、上・下部消化管内視鏡治療(ESDを中心に)	
研修内容・達成目標	内視鏡治療(ESD,EMR)の見学、直接介助の経験ののち、胃ESD、次いで大腸ESDの術者として研鑽を積む。 2-3年次で日本消化器内視鏡学会専門医取得	
コース内容に関する 問合せ先	並木 伸 (東京都立多摩総合医療センター 消化器内科部長) TEL:042-323-5111(代表)	